

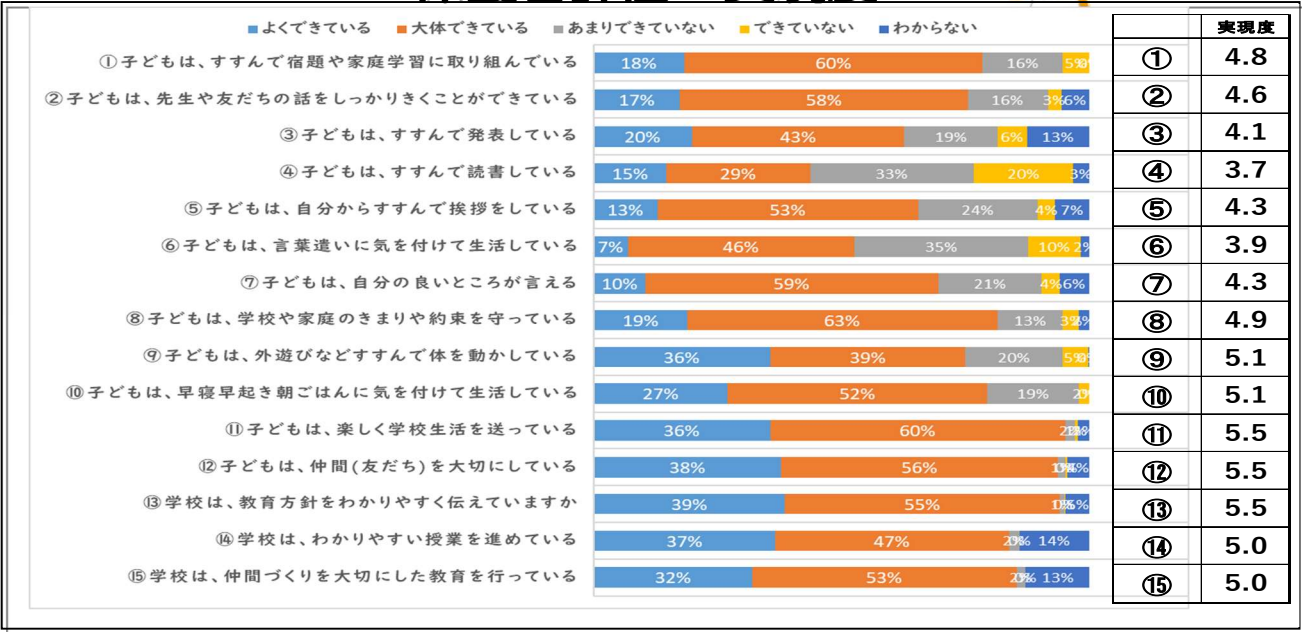
川岡東だより 増刊号No.1

京都市立川岡東小学校
校長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

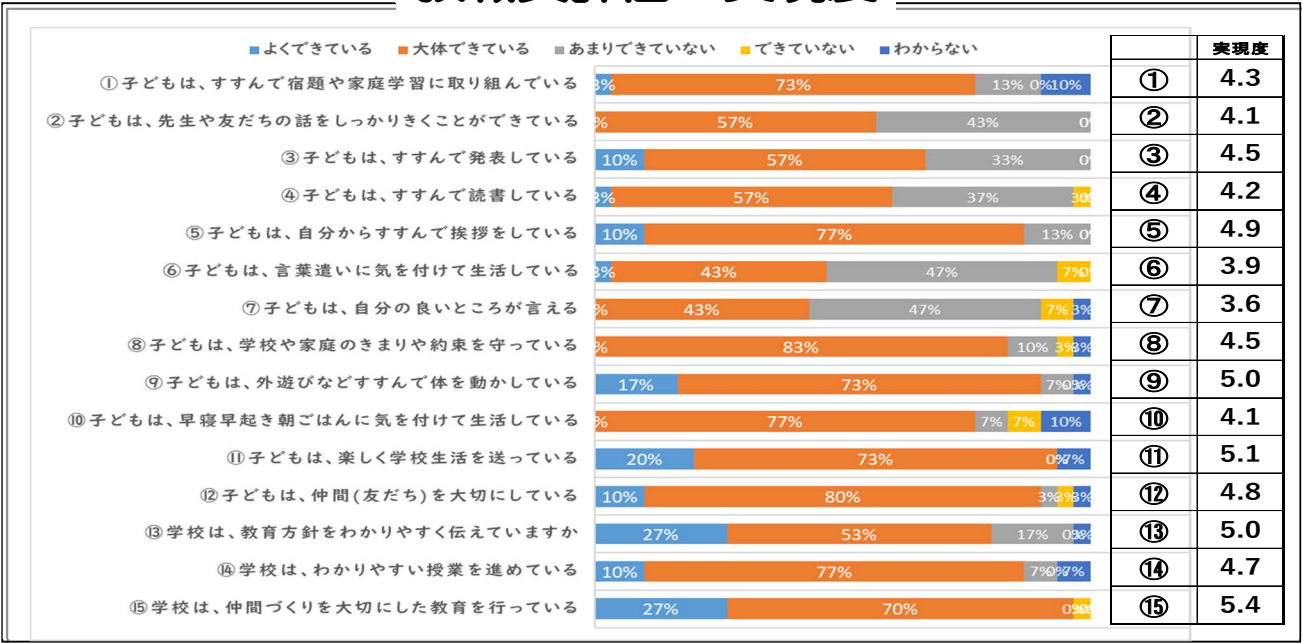
学校アンケートの結果より ～ご協力ありがとうございました～

保護者の皆様には、夏休み前（7月）に「本校の教育にご協力を」という形で、本年度1回目の学校アンケートをさせていただきました。今年度より、フォームズでのアンケートの回答をお願いすることとなりましたが、334名（回収率79.9%）の方に返答いただきました。ご理解、ご協力いただきありがとうございました。その結果をお知らせいたします。

保護者評価 実現度



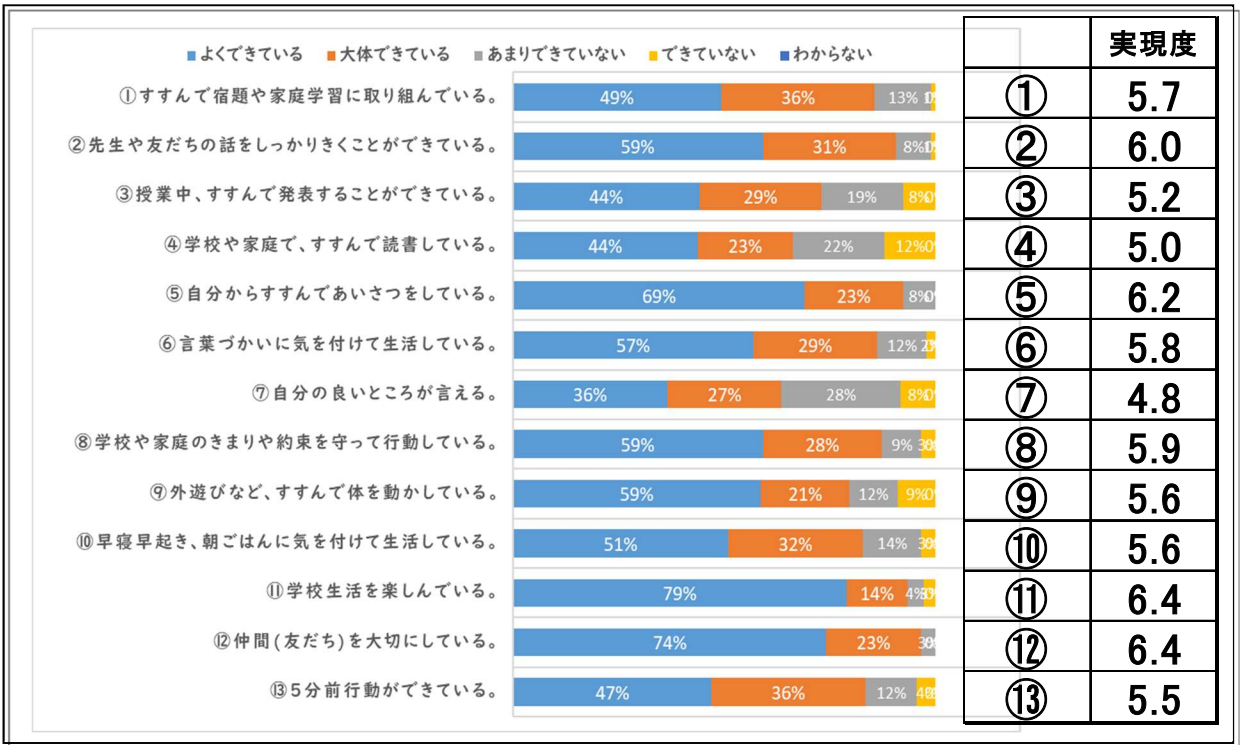
教職員評価 実現度



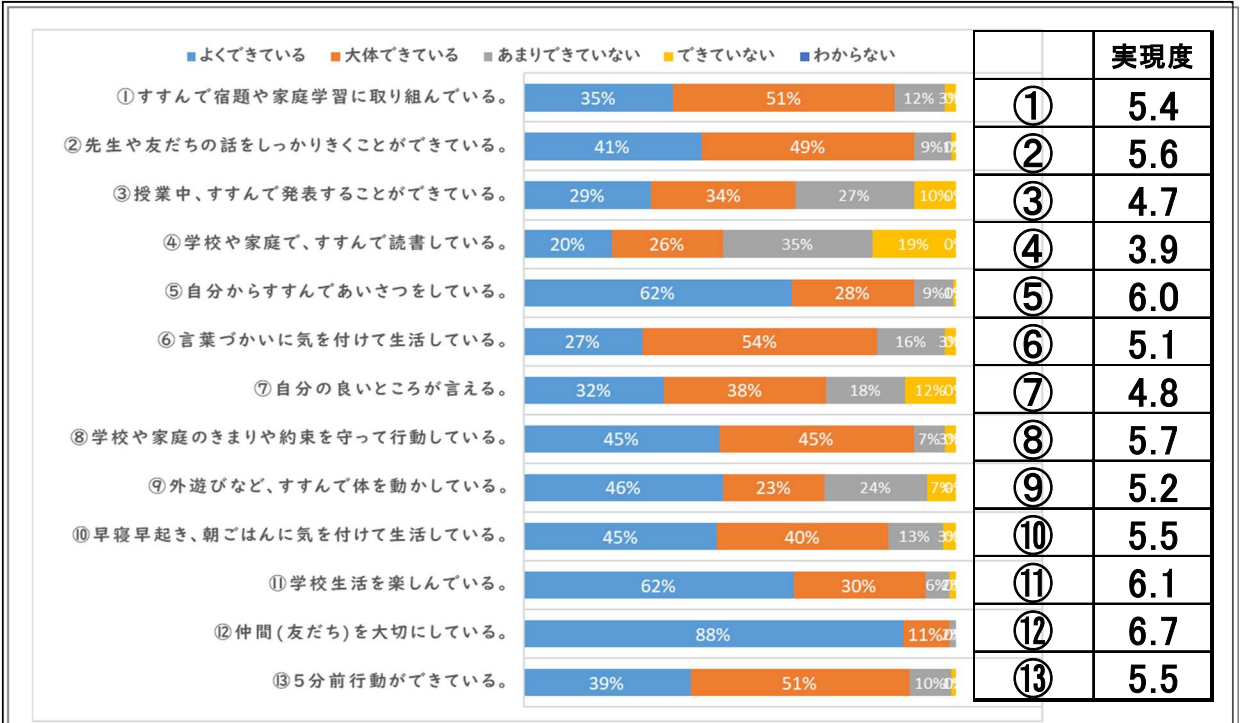
表の見方について

重要度…7点満点で数字が高ければ重要であると考えられるもの。
実現度…7点満点で数字が高ければできていると評価できるもの。
5点をを超えているとおおむねできていると判断してよいと考えています。

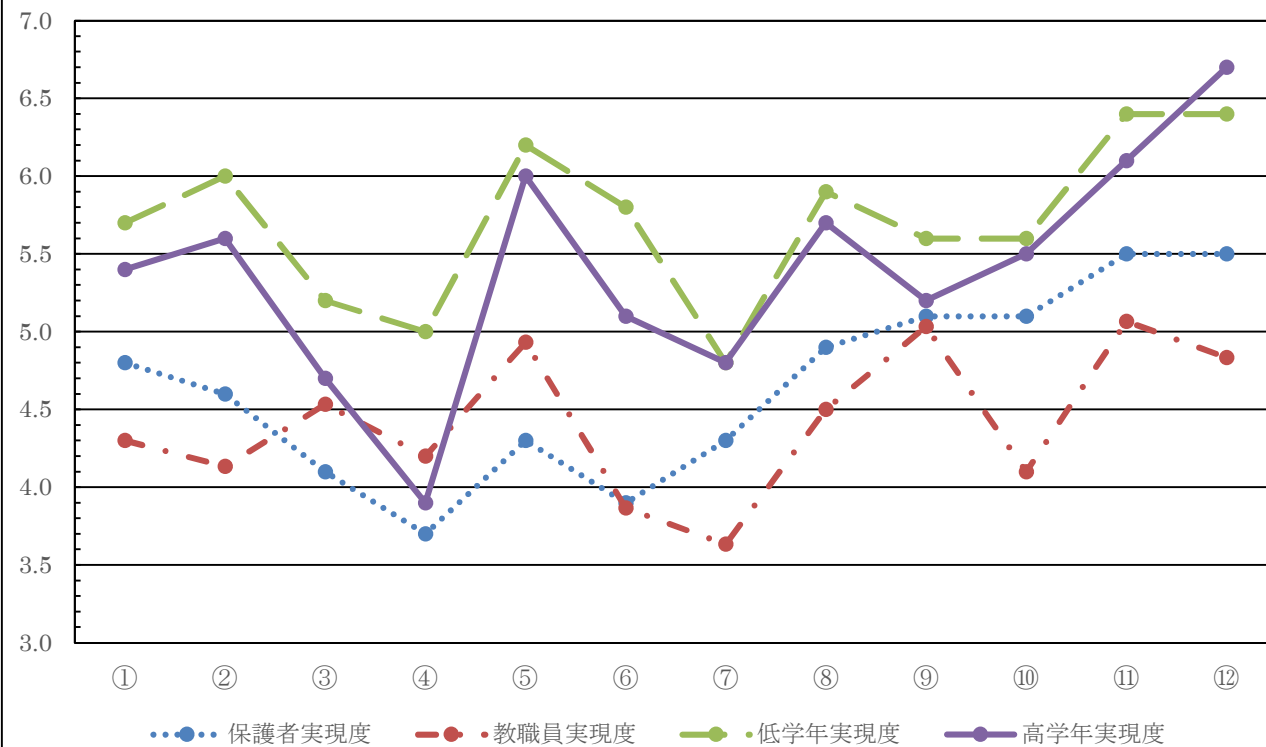
1・2・3年生 児童の自己評価結果



4・5・6年生 児童の自己評価結果



実現度比較（保護者・教職員・児童）



～保護者・教職員の結果から～

今回より、アンケートの分析ソフトが変わったこともあり、フォームズを使った調査に変更しました。そのため、実現度のみで調査をしていますので、今までのように重要度の意識調査はしていません。また、重要度の調査も、項目に大きな変化がないことや、どれも重要だと認識の上で取り組んでいますので、今回の調査より、実現度のみで行っています。そのこともあり、上部に示すように、実現度比較を、「保護者」「教職員」「低学年児童」「高学年児童」と4者の比較ができるようになりましたので、その違いも明確にわかるのではないのでしょうか。

保護者や教職員の実現度の傾向は似通っているところもありますが、保護者より教職員の方が実現度が低いという現状は変わりません。全体の現状として、大きく変わっているということではありませんが、気になる項目は、依然気になる状況です。言葉遣いや読書といった項目はやはり低くなります。ただ、③「すすんで発表」④「すすんで読書」⑤「すすんで挨拶」という項目については、教職員の方が実現度は高くなっています。また、読書に関わっては課題となる項目ですが、保護者も教職員も実現度が高まっています。まだまだ低い状況ですが、今まで大人が意識して何とか定着させていきたいと項目に、同じような認識として高まっていることにうれしさを感じます。

気になる点として、⑫「仲間を大切にしている」⑭「わかりやすい授業を進めている」という項目が下がっています。それでも、実現度「5」前後ですので、そんなに低いわけではありませんが、教職員もしっかりとその点を意識して、仲間づくりや授業の工夫を行っていく必要があると思っています。

⑩「早寝早起き朝ごはん」といった項目は、教職員も保護者も実現度が高まっています。1学期には、児童会の健康委員会が調査して、わかったことを全校に発信するなど、生活習慣の大切さについて、考える機会を持てるようにしてくれています。そんなことも各自の意識や様子の変化につながっていればうれしいところです。

～児童アンケートの結果より～

- ・低学年・高学年とも昨年度の後期のアンケートと比較すると、全体的に実現度が高まっている傾向がみられます。①～⑥までの項目においては、低学年も高学年も実現度が高まりました。相対的に低学年の実現度が高く、高学年の方が低くなる傾向にはありますが、実現度が高い項目は、低学年、高学年とも高くなり、低いところは、どちらも低くなるという項目ごとの傾向は同じような結果を示しています。
- ・低学年の項目の一番低い項目は、⑦「自分のいいところと言える」、高学年の一番低い項目は④「進んで読書」でした。違いはありますが、⑦の項目について、高学年も低学年と同じ実現度で、しかも「5」を下回っていますので、自尊感情といった点は、余り高くないことがわかります。
- ・⑥「言葉遣いに気をつけている」の項目については、低学年も高学年も実現は高まっている上、「5」を超えていますが、保護者や教職員の実現度とは大きな格差があります。子どもにとって気をつけてはいるが、大人からすればまだまだ改善されていないといったことなのかもしれません。この点は、自由記述でもよくいただくご意見ですが、子ども言語環境がどうなのか、どんな言語環境で過ごしているのか、といった視点で振り返ることも必要のように思います。そうすると、子どもだけの課題ではないかもしれませんね。また、よくない言葉遣いを真似してしまうということを知りますが、マネするということは、どんな意識で真似をしているのか、そういった視点で確認しておくことも大切かもしれません。そういう言葉遣いがかっこういいとか、大人ぶっているとか、威圧を与えて優位に立とうと思っているのか、どんな思いで使っているのか確認するのもいいかもしれません。
- ・暑さの影響なのかもしれません。⑨「すすんで体を動かしている」の項目において、「5」をこえてはいますが、昨年度の後期のアンケート結果よりも、低学年で0.2、高学年で0.3ポイント下がっています。後期のアンケートは前期のアンケートより下がる傾向がある中で、今回、下がっていますから、それだけ気象条件の与える影響が大きかったと思われます。それでも、本校は外で元気に遊ぶ児童が多いですが、二極化傾向がみられるのが最近の実態です。
- ・⑪「学校生活を楽しんでいる」⑫「仲間を大切にしている」の2項目ですが、保護者や教職員の実現度が下がっているという結果でしたが、児童は低学年、高学年とも高い実現度は維持しています。また、全国学力学習状況調査の児童質問紙でも「学校生活は楽しい」とか「友達関係に満足している」という項目ではよい結果となっています。若干の変動はあるにせよ、実現度「6」以上の結果を示してくれていることはうれしいことです。維持できるように学校環境を子どもたちと共に整えていきたいと思っています。





保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校
校長 岡本 雅文
TEL 392-8820 FAX 392-8827

自由記述でのご意見やご感想、ありがとうございます。教職員にとって励みになる言葉をたくさんいただきました。たいへんうれしく思っています。感謝申し上げます。その中から具体的にいただいたご意見や内容にかかわって、提示いたします。同ような内容や個別に関わる内容は一部まとめています。御了承ください。

○学校生活・学習活動等について

- ・何かあったらいつも親身に話を聞いてくれ、しっかりと問題に取り組んでいただき感謝です。ありがとうございます
- ・この時期から運動会あたりまで、暑い日が続きます。今年は例年より暑くなるとも言われていますから熱中症や暑さ対策を今まで以上に考えてしてもらえたらと思います。子ども達も先生方も暑さで体調崩されませんように！
- ・いつもありがとうございます。毎日楽しく学校に通っています。ただ最近、忘れ物や物を無くすることが多く、困っています。家で注意していますが、なかなか改善しません。
- ・先生から苦手なことなど、さりげなく背中を押しもらったり褒めていただいたり、フォローしてくださっている様子を聞いています。学校生活の中で日々成長させていただいています。お忙しい中いつもありがとうございます。
- ・先生方お忙しい中こどもたちのために色々ありがとうございます。感謝しかないです。学校が嫌だと言うこと無く楽しんで行ってます。
- ・1年・2年の時の学校への行き渋りが嘘かのように今は楽しんで学校へ行ってます ありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます 反抗期難しいですね！
- ・子どもたちのことを、よく見てくれる先生に感謝です。明るい学級、皆で考える学級、勉強だけでなく、人間力をつけてもらっているような気がします。ありがとうございます。
- ・クラスに発表をする子が多いのか、自分は苦手で手を挙げるのが辛く学校に行くのが嫌だと言うときがあります。
- ・いつもあたたかいご指導をありがとうございます。担任の先生もご家庭（子育て）がある中で、体力的にも精神的にも大変なことが数えきれないほどあると思いますが、日々子どもたちに向き合ってください感謝しております。校長先生のお話や学校だよりのメッセージから学ばせていただくことが多く、いつも楽しみにしております。教科指導の先生のおかげで、子どもに自信ができました。難しい時代ではありますが、先生のようにダメなことはしっかりと叱り、良いことは褒め、成功と一緒に喜んでくださる先生がいてくださり、とても心強いです。
- ・子供にあったペースでいろんなことを教えてくださりありがとうございます。いろんな工夫ややる気のでる声掛けで、給食も食べられるようになりました。学校での様子も教えてくださり、少しずつ成長できてるなと思っています。先生、お友達のおかげで毎日学校に行けていて、とても楽しそうです。 いつもありがとうございます。

○学校・学年・学級のルールについて

- ・最近熱中症対策で居残り遊びの中止をすぐるでよく見るのですが、何度以上なら中止と目安を教えてくださいと嬉しいです。その方がその日の天気アプリを見て子供と放課後の過ごし方を朝のうちに話し合えるからです。

◇なかなか暑さの厳しい状況が続いています。気温や湿度も高く、活動しにくい状況となっています。運動などに関する判断は、温度ではなく熱中症指数計（原則 WBGT31 以上は外での活動を自粛）と直射日光の状況で判断をしています。毎日、適宜測定し、指数が高くなくても状況に応じて注意喚起をしています。ただ、子どもには、活動させてやりたいし、学習もしっかりと進めたい、でも体も守らなければならないということでも、苦しみながら、悩みながらの決断です。今年度、ミストを渡り廊下につけました。

○あいさつ・言葉遣いについて

- ・いつもお世話になっております。先生が好き！が学校へ通う原動力になっているうちの子です。親しみやすい先生、ありがたいです。言葉遣い、本当に難しいです。家庭内で誰もそんな言葉遣いしないのにな…という言葉を使う事が、お友達とのやりとりの中に出てくるのかなと思っています。言葉を受け取った側の気持ち、様々ある事をこれから学んでいって欲しいと思います。そのノリは友達間ではええかも知れんけど、お母さんにはやめて欲しいわ… ということです。

◇言葉づかいはいつも課題としてあがってきます。児童アンケートの結果にも分析として表現させていただいていますが、どんな環境に所属しているかで影響が大きいものと思われます。以前に比べて、言葉づかいについては、向上してきていますが、まだまだですね。われわれ大人がどんなことばの環境を子どもたちに提供しているのかを、振り返っておくことも必要ですね。

○宿題・自主学習について

- ・毎日楽しく通わせていただきありがとうございます。以前はなかなか宿題を始めずどうしたものかと悩み先生にも相談したこともありましたが、今では自分で始めるようになり成長を感じております。ただ高学年に向けて全体的な評価が厳しくなっているせいか、家庭学習のモチベーションが下がり親としてもどう声かけなどしたらいいのか悩んでおります。友達同士でも、全然褒められへんと話してたりもするので、うちの子に限らず少しハードルが急に上がったのかなという印象です。例えば、以前は漢字や自主学でも花丸シールをもらえたものが全然貰えなくなったり、計算名人大会も賞状がなかったり、自分なりに頑張っている、目に見えた評価までには繋がらないようで、「頑張ってもどうせシールもらえへんし」と言うようになり、モチベーションがどんどん下がっています。こちらの声かけで、シールや A 評価を目指してみろ！と、時間をかけて頑張ってみることもあるのですが、結局それでも評価には繋がらず、なんでやろう…もうムダや…となる繰り返しです。その学年でそれなりのものを求められるのはわかるので、もう少し次はここを頑張ってみたら？と家でも話すのですが、以前との差がありすぎるのと、親の声をあまり聞いてくれなくなってきた年頃なのもあり、こんなにどんどんモチベーションが下がって高学年大丈夫かなと心配です。親から見ても、頑張ってるし今回はいいんじゃない？！と思う出来でもなかなか厳しいなと思う評価だったりするので、子供は何がダメなのか、どこをもっと頑張ればいいのかわからないようで、もう少し急に厳しくではなく、前の学年からグラデーションをつけていただけると、子供も厳しさに慣れていけるのかな…と感じました。基本的に、甘くすると雑になるタイプなので厳しくしてくださることは有り難いのですが、シール1つにしてもモチベーションの大きな理由になるので、ここを直せばシールだよ！というわかりやすい目安があれば助かります。先生方のご多忙の中、子供一人一人の対応をしてくださっているので、勝手な意見、感想で申し訳ないのですが、せっかくの機会でしたので記入させていただきました。よろしくおねがいします。

◇子どもの学習への意欲をどう高めていくかは、難しいところです、お話を聞く限り、いろいろな支援の中、意欲が出てきたにも関わらず、学年が進行することで、意欲が下がってきている。その要因の一つとして、学校のかかり方が影響しているのでは、ということかと思われます。その点については申し訳ないところです。ごほうび的なもので学習意欲を高めることは一つの手段です。ただ、いつまでもそれが学習の意欲になっていてもこまります。ご褒美的な要素は、きっかけづくりとして活用するもので、そのきっかけをもとに、学習のよさやおもしろさ、大事さを体得してもらうことが必要です。学習へのきっかけや意欲を持続させるために、様々な方法考えていくことになるかと思います。その意味では、お子様の状況をしっかりととらえて、特質にあった手立てをする必要はあるかとは思いますが。お子様の意欲が下がっているのなら、支援の仕方として学校も考えていかなければならないところです。いただいたご意見を共有し、子どもが主体的に学びに迎えるように検討、工夫していきたいです。また、学年とも相談いただきながらその子にあった支援を共に考えていければと思います。

○情報提供やアンケートについて

- ・先生が失敗を気にせず発言したり質問したりできる楽しい空気を使って下っていると聞いています。おかげさまで毎日楽しく学校に通わせて頂き、大変ありがたいです。学校からの日々諸々のお知らせもアプリを通しすぐに受け取ることができ、細やかなご配慮とてもありがたいです
- ・ホームページに活動を載せてくださるのを楽しみにみているんですけど、うつってる子やクラスが偏ってることもあり、自分の子のクラスがうつってないことがあるので、できたら、まんべんなくうつしてほしいなと思っています。

◇すぐ～るになってから、情報の発信がしやすく、適宜案内やお知らせができることは学校としてもありがたいことです。今後も有効に活用しながら、情報のやり取りができればと思います。ただ、すぐ～るはあくまでも情報のやり取りですので、その情報をもとにお電話や顔を突き合わせてお話させていただくこともあります。家庭との連携は大切にしていきたいところですので、その点はよろしく願います。学校も、適宜、電話等直接お話をさせていただくことと大切にしています。

◇ホームページの閲覧ありがとうございます。楽しみにしていただいております。HPIは、あくまでも学校の様子を少しでも知っていただくことをねらいに取り組んでいることです。どんな取り組みをしているか、どんな活動をしているか、学級や学年、学校の全体の様子はどんな感じなのかを知っていただくために取り組んでいます。いただいたお気持ちはよくわかりますので、ご意見を共有し、各学年留意していくようにします。しかし、全員をまんべんなく、ということはむずかしいこと、また、中にはHP等に掲載されることを遠慮されている方もおられますので、お知りおきください。

○その他

- ・学校の様子は親にはわかりません。
- ・学校教育とは直接関係ありませんが、大谷グローブがケースに入れて飾ってあるだけはもったいないなあと思って。大谷さんはキャッチボールを子どもたちに楽しくて寄付したわけで、もちろんいろんなリスクはわかります。でも、一度も子どもが使うことなく飾るのもちがうと思います。
- ・家庭訪問廃止になっている学校も多いようですが、川岡東小学校では廃止にする予定はありますか？正直、部屋を片付けたりして大変で、断りたいです。
- ・水泳の授業について、学校のプールではなく、現在、全国各地で勧められているような近くのスイミング施設と提携することはできないか。限られた教員ですと安全面、技術面を満たすのは難しい。熱中症や日焼けのリスクがあること、またプールサイドに蜂の巣があると子供から聞き、不安になる。施設のプールの利用料金はかかるが、学校のプールを運営する費用、教員の管理の負担等考慮して、検討してもよいのでないか。
- ・旗当番や参観などで見た様子や、子どもからの話の中で、大人から注意や指導をされても響かない子がちらほら居ると感じます。ご時世的に指導する先生方も大変だなと思います。本当にお疲れ様です。

◇多岐にわたりお気づきのことや気になることなど提示いただき、ありがとうございます。

◇大谷グローブですが、いつも活用しているわけではありませんが、何度か活用しています。また、使用を禁止しているのでもなく、使いたい子どもは使ってもいいことにはなっているのですが、ただ、活用する時間が、安全面を考え、放課後としているので、申し出てくることがないのかもしれませんが。また、3つしかないの、活用にくいのかもかもしれません。

◇水泳学習については、今年のようにこれだけ日差しが強く暑いと、十分な水泳学習もむずかしいところです。ご提示いただいたような方法がとればどの時期でも水泳学習ができますし、気温や天気に関わらず実施することでもできます。教育委員会も随時検討してくれているようですので、いずれは、変わっていくかもしれません。学校からも水泳学習の現状や心配、水等の管理の難しさなどは申し出ているところです。

◇年度当初の家庭訪問について、ご協力ありがとうございます。確かに学校によっては、やめているところもあると聞きますが、復活しているところもあります。本校では、家庭との連携や年度当初の顔合わせ、地域の様子を確認することなど、いくつかの目的をもって取り組ませていただいております。どうしてもお仕事のご都合などで難しい時には、担任とご相談いただければと思います。年度当初の大切な顔合わせと考えています。年1回のことですので、限られた場所でも構いませんので、ご理解ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いします。

- ・初めての学校生活で不安もありましたが、先生方のおかげもあり、楽しく通わせていただいております。ありがとうございます。帰り道のことで一つ心配があります。牛ヶ瀬 JR 高架下の見守りですが、ハイアプリになってから応募がなく誰も立たれていない日があります。以前、たまたま居合わせた時には、1年生がみんなで楽しそうに走って帰ってきていて、楽しさからか右左確認せずに車が来ていたのに飛び出していて怖いと思うことがありました。子供自身がしっかり気をつけて渡るのが1番大事だとは思いますが、低学年は特におしゃべりに夢中になったりすると周りが見えていないことがあるので、ハイアプリでの応募についてももう少し確実に立ってくださる方がいるように出来れば安心かなと思います。

◇放課後の見守り活動にかかわっては、学校としてお願いとなります。朝の登校時もそうですが、地域やPTAの方々に見守っていただき、大変ありがたく思っています。学校としては平素から、安全な登下校や自転車の乗り方など指導しているところではあります。また、何か関連するようなことがあった時には、全学年その都度、それぞれの登下校の仕方など振り返るようにしているところではあります。見守りは、あくまでもボランティアとなりますので、学校としては要望できにくいです。ただ、学校運営協議会で話題とし、地域に方々にも知っていただくようにします。

学校運営協議会の理事の方々から

- ・下津林の交差点(中信前)での下校時の様子が気になる。交通量が多い中、児童の下校時刻が重なると、信号待ちの児童が多くなり、車道に出るなど横着な行動があり、事故につながらないか心配である。交通ルールをしっかりと守る意識が必要ではないか。

→登校時はまだ、落ち着いて登校できているが、下校の仕方については、以前から指摘されている。適宜安全な下校の仕方について、指導しているが、気になることや心配な面があれば、連絡いただきたい。また、放課後の遊び方について、以前はよく連絡があり、駆け付けることが多かった。最近はほとんどなくなったが、学校外での行動の仕方は横着になるので、必要に応じて指導していく。

- ・登校時、毎日のように車で送ってもらっている児童が数名いる。自転車で正門まで送ってもらう児童もいるのが気になる。

→お伝えいただいたことは気になる点であるが、まずは、子どもをほって仕事に行ったりするのではなく、間に合うように登校させようとしていただいていることに感謝している。

- ・学校の運動場に大量の毛虫が発生していた。対応はどうされているのか？

→今週、急に大発生した。伐採などして対応しているが、しばらく様子を見ている。毎年のことではなるが、今年度は例年になく多い。殺虫剤等の噴霧について、化学物質等で体調に異変が起こる子どももいるので、今はできない。

- ・今年の異常な暑さが心配。どのようにしているのか？

→児童の実現度でも顕著だが、外遊びが減っている。外で発散させてやりたいが、体調面も心配である。熱中症指数計の活用や直射日光の様子などで判断している。

- ・育成学級が育てていたトウモロコシが食べられていた。周りの様子や状況からは、人ではなく、動物の可能性が高い。最近、ハクビシンやアライグマ、イタチなどの目撃情報もある。

- ・セアカゴケグモが発見された。注意が必要

【前期学校アンケート結果の分析から】

今年度から新たなアンケート方式としましたが、多くの方に協力いただき、学校の実態を明らかにすることができました。学校全体がよりよく変わってきていることや子どもの成長を温かく見守っていただいていること、また、学校の取組にご理解やご協力、応援いただいていることが、改めて確認することができ、感謝の思いです。本当にありがとうございます。ここ数年、学校環境はずいぶん変わってきたのではないかと感じています。日々の子どもの笑顔や頑張りがたくさん見られて、うれしくも感じています。ただ、課題となる点が改善傾向ではあっても、まだまだ高めていかなければならないですし、ご指摘いただいた疑問や課題は、教職員で共有し、改善していかなければなりません。現状に甘えず、高みを目指して、これからの下半期。しっかりと取り組んでまいりたいと思います。引き続き、保護者、地域、学校の3者の連携をどうぞよろしくお願いします。

京都市立川岡東小学校 岡本 雅文